（廿四日夕刊）
磐城新聞
休刊　大祭第一第三日曜
定價　壹ヶ月五十錢、壹枚二錢、郵税十錢
廣告料　雜報欄行五十錢（場所指定二十錢増）
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

胃病に就て□□□

高久病院長　高久忠

胃癌と申しまする病氣はまことに厄介な病氣でありまして、その原因は殘念乍ら今日まだ不明であります、お多數四十歳以上の人が罹り女よりは男の方が多いやうであります、そしてこれは遺傳をいたします、さらに癌の原因は不明だと申しましたがしかし、若い時に胃潰瘍になつた方はそのあとから暴飲暴食を充分つゝしまれねばなりません。

胃癌の症狀

胃癌は決して突發的にきまりませんしたがつて病氣も急激には來ないのであります、勿論症狀はありますが、先づ最初は食慾が減退して消化不良となります、そして不思議 肉類がことにほしくなくなつてであります物をたべますとすぐあとが痛みます、右に全くない人もあります共大体疼痛がありますその氣もあります胃の中で出血することがありますが、その時には吐いたものはコーヒーのやうな黒色を呈します、噴門癌といふのは食べるとすぐ吐きます、幽門癌といふのは二三日に一回位吐きます。とにかく右のやうな次第ですから患者は急にやせます皮膚の光澤もなくなり、貧血を呈し榮食不良となります、舌は灰白色となりますす便通は大体秘結します。

その手當法

すでに書初申しました通り胃がんは實に厄介な恐るべき病氣でありまして、患者は數年内に必ず死亡をいたします、そこでこれはなるだけ早く發見して手術をせねばなりません、もし胃が普通ではないかと思はれる方は早速信用ある醫師につき胃液検査、レントゲン検査その他必要なる検査を充分に受けゐがん初期と決定したならば一日も早く手術を受けねばなりません、すべき手當といふことになれば專門醫の指圖にしたがはねばなりませんから、くはしいことは申しませぬ。

胃癌豫防心得

胃癌豫防心得は刺戟元をすべて癌腫は、刺戟の強いところへ出來ることは最新醫學・證明する處でありますから、豫防の心得としてはこの刺戟をさけることが第一です、平素から酒をのむ人、辛子やワサビの如き刺戟物をのむ人は統計上にも胃癌になりやすいからつよい酒、つよい香味を少生用ひぬこと、あまいものも澤山はいけない、濃い茶、コーヒーも禁ずべきものであります終りに、今日の所では殘念ながら胃癌のために信用するに足りる藥は一つもありません、それをよく記憶下さい、新聞や雜誌などで特効藥とか注射療法なんどいふてゐますが信用できませぬ、胃がんか内服藥で治つたなどと宣傳してゐる者もあるやうですが、みんな信用なりませぬ病氣が進行してもはや手術のできぬやうになつた患者は食養法に注意して体力を充分に保持することを心掛ねばなりません〔文責記者〕

明日の吉凶

新暦二月廿五日　舊暦二月五日

▲一白　肉身を當てに仕過ぐる時は意外の手違ひを生ず▲二黒　急速、發展は望まれざるも刻々と吉に向ふ▲三碧　難みたる行先きも時を待てば開け來るべし▲四緑　人より持込む相談事には口舌の生じ易き日▲五黄　見榮を飾らず理をせず退てが生氣を養ひ勝▲六白　氣折れせず自らはげまして怠らざれば成功す▲七赤　一時のかん苦を忍べば午後は大吉の日と成る▲八白　先を謀り過ぐるときは足元却て疏かになる▲九紫　自然の幸福を授かる日就中文學學大吉

新刊紹介

◎實業時代　二月號は議會解散の爲め發賣遲れとなつたが内容は實業、政治の表裏より情界の素破拔き等百般を盛り澤山し時局寫眞と業界の批判、豫測等全冊を埋め非常に豊富な内容で好評判（東京日本橋區元大工町十二實業時代社發行一冊五十錢）

講談　聞に聞く男達

(23)　高田涙川作　尾崎雪麿畫

寶物の茶椀

金五郎は木更津藤兵衛のもとに足をとゞめ一同に劍道を敎へる事となつた、この藤兵衛も武士の胤で腕前もできる、なぜこんな身になつたか之にも一場の物語がある、水戸藩の馬廻役を勤め三百石をいたゞく渡邊重兵衛の一子重太郎といふが藤兵衛の前身である重太郎の三歳の時に母のたみは黄泉の客となつた、父重兵衛はまだ四十にならぬ身であつたが後妻を迎へ世間に往々あるまゝこ虐めなどのため重太郎を困らすは可愛想と、人の勸めも退けてゐた、しかし幼兒をかゝいた家庭の不都台この上ないので同じ馬廻を勤める久世主水の妹たかねといふが良人に死なれ實家に歸りをり氣質のよい評判の婦人である、媒酌する人あり後妻にめとつた、重太郎を我が産みの子の如く可愛がるに重兵衛も喜んでゐた、處が翌年正月たかねは男の兒を生み落し、名前を政二郎と名付けた、生みの子と重太郎との差は遠ひはせぬかと重兵衛は又も心配したが、おかねは生みの政二郎は乳母を雇つて托し、自分は重太郎を我が子以上に愛して育てる、父重兵衛は無論の事、これを知る世間の人はたかねを賞めたゝへてゐた重太郎と政二郎の兄弟は無事に生長し二人共ナカ〱の利功者であつた。重太郎が十歳、政二郎が六歳の時であつた、同役の人が五六人この重兵衛宅に集まり茶を催す席上で互に系圖の自慢が出た、この渡邊家の祖先は楠正成公に仕へし名譽の人で、家にはその頃より傳はつた楠公遺物の菊水の茶椀といふのがある、同役の中でそれを知る者が、せひそれを拜見したいと云ひました、重兵衛も多少の自慢もあり、この茶椀を一同に見せ鼻を高くしてゐた、これで當日の茶の湯もお開きとなり來客は辭去する重兵衛が便所へいつたあと、次の間で母や弟と共に茶縮を見てゐた重太郎はツカ〱この室には入り、大切な菊水の茶椀を手にせんとした、母親たかねは驚き「コレ重太郎、それは大切なるお寶、決して子供が手をふれるものでありません」と叱るものの義理ある仲とて實子の政二郎を叱かる如くそれを取り上げやうとはしなかつた。

「母樣、さう仰しやらずにちよいと見せて下さい」

重太郎は手に取り上げ菊水の模樣を見んとするとたん手をすべらし下にあつた茶釜の上へ落したから堪まらない、茶椀はこなみじんとなる、母おかねの驚きはいかばかり子供ながら重太郎も大切の寶物と知つてゐるから、顏色を變へ母の傍へ飛んで來た

「母樣、どうも惡い事をいたしました、どうしませう」

利巧者でもまだ十歳の少年、驚き怖れて母親にすがるのみであつた

「どうも重太郎過失とはいひながら大變な事ができました、かけがいのない家寶をかういふ事にしては妾も計ひかねます困つた事ができました」

母親も呆然としてをる所へ入り來た重兵衛はかくと見てこれも顏色を眞つ青に

重太郎は只ウロ〱してゐると母たかねは何思ひけん、ツカ〱と良人重兵衛の前へ進み出た

「アノ……旦那樣、誠に申わけない事をいたしました只今大切な菊水の茶碗を拜見いたさんと存じ手にいたさんとする際、誤つて取り落し御覧の如きこの始末たゞ斷りもいたさずこゝにをりしを幸ひ無斷で手にいたしましたが天罰と申しませうか此上はいかなるお叱りを蒙りましても申しわけはございませんどうか妾の一命をおとり遊ばしてそれでご勘辨を願ひたう存じます」

惡びれた氣色もなく織子重太郎の罪をその身に引受け重兵衛に詫びする、今まで只ウロ〱して居た重太郎も現在自分の罪を義理ある母に負はせ發き、默つてゐる事はできぬとの心が起きて來たのである

「アノ父上樣、實はその……そのお茶碗を割りましたのは母上ではございません、この重太郎でございます、どうか私の一命をお取り下さいませ」

重太郎も覺悟を定め父重兵衛の前へ出たのである

廿四日（金曜日）替り上映
日活軍劇派特作品……南光明大努力主演
血涙悲壯　皇恩　全
山本嘉一、高木永二、小泉嘉輔、伊藤隆世
瀧花久子、牧君子、市川春衛…其他助演
全世界を驚嘆せしめたるパラマンド全力傾注百萬ドル映畫の一
それからそれへと眼まぐるしく展開する哄笑諧謔速力の大喜活劇
◎優レイモンドグリフイス氏決死的大冒險主演映畫
冒險大喜活劇　極樂突進　全
松平鶴之助　入社第一回獨力主演雄篇
建國大劔史　神文　全
櫻木梅子、澤蘭子、磯川元春、高木永二、市川百之助、日活時代派本年度大作映畫の二
土曜日　學生デー
日活松竹特撰映畫　高級常設　平館　電（四六六）

平町舊城跡
青沼醫院
電話四〇三番

平町紺屋町
藤沼醫院
電話五〇七番

夜間診療
胃腸　内科　十二指腸虫病　專門　内科部
梅毒　淋病　婦人病　皮膚病　專門　外科部
平町南町　松村病院　電話一〇七

片濱自動車運轉
平、高久、豊間、江名
停留所
一丁目小川屋、四丁目泉屋
新川町松崎硝子店、月見町白土屋
月見町一二三屋、江名山口屋
電話…二一七番　一四二番（御三人以上はお迎ひに參上致します）
平町四丁目和泉屋旅館前
鈴木　片濱自動車商會

貸地廣告
平町郡役所より税務署附近の新開地に一千餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極ぐ安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり戴けば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所
電話六〇三番　五四一番

平町田町
高久病院
電話五〇三番
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹菊雄
内科、小兒科、外科花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科、

二ケ年に跨つて 第三校を新築 十七萬圓を增加した 平町本年度豫算

平町では廿四日午前十時から町會を召集し昭和三年度の通常歳出豫算並に特別會計給水、衞生費、歳入出豫算を議題と爲してゐるが原案に現はれた豫算總額は

特別會計を除き四拾四萬一千九百八十三圓に達し經常費は二十一萬一千三百七十二圓、臨時部二十三萬八百九圓、此れを前年度と比較すれば驚くべし十七萬一千八百四十六圓の大膨張を示してゐる、更に特別會計に屬する水道部豫算は九萬八百六十圓、經常部七萬四千八十五圓で前年に比し一萬七千七百七圓の減少を示してゐるが此れは

配水擴張の大部分を前年度に於いて了した今年は何ら新を要する事業なき爲めである、然して此の總額四十五萬圓に達せんとする莫大な豫算の内容を觀れば

△歳入に於いては使用料諸手數料を引上げ（火葬場の使用料に六圓四圓二圓に手數料は證明、數ある料全部に亘つて五錢を）縣の土木費補助六萬圓の增加と更らに町債十四萬三千圓を起債する

△歳出に於いては小學校費の二千圓增加、商業學校費の二千圓增加、火葬場費二百十二圓を新設等に依り通常部に於いては前年度と大差ないが臨時部に於いては御大典の奉祝費五百圓の外第三小學校の新築第一、第二小學校の增築豫算二十四萬九千五百八十五圓を示してゐるが小學校

建築費は多額の爲め繼續事業と爲し財源は町債に依る而して本年度十六萬五千圓、明年度八萬四千五百八十五圓其の他水道部に於いては此等新規のものなく平凡である即ち今年度の町の豫算膨張は第三小學校の新設のみに依つて見たるもので外何等の目新しさを感んじない程度のものである

お互ひに戒むべき 醜い泥仕合 目ぼしい違反もなしに 平檢事局小閑

平檢事局では今回の總選擧に當り苟しくも違反行爲が[illegible]ば所謂なく嚴罰に處し普選潮の選擧として意義あらしむべく各警察署を督勵し

鋭意警戒に多忙を極めてゐたが第三區はさしたる違反行爲もなく只今の處極めて無事に終らんとしてゐる、右に際し司法當局では「昨秋の縣會議員選擧は全く普選最初の選擧だけあつて有權者もこれが取締に當る警官も從來の選擧法の惰勢から相當の違反も出し取締も遺憾の點も免れなかつた感がある今回の總

選擧は一般に相當普選眞意が徹底し有權者もその精神を了解し取締る警官も相當試練を經て來たので昨秋の縣議戰の如き違反もなく失格するやうな結果を[illegible]ないであらう、檢事局も縣議戰の情況に鑑み相當取締を考慮し活動した結果大したこともなく豫期に反して最初の總選擧を意義あらしめた事は喜ばしい、が今後政民兩派が違反の摘發に

泥試合を演じないとも限らないがこれも戰の終つた今日では大した事もあるまいと思つてゐる檢事局では法の精神に從つて違反と認むる點があればいつでも活動を開始するが、だ話する程の違反も認められない兎に角一言にして語れば普選の精神が一般有權者に普及して來た結果豫想外の好成績を納め最初の總選擧を意義あらしめたものと思ふ」云々

涙ぐましい程に 交換孃の活躍 文字通り不眠不休で 平局一ト息拔く

當落の結果もわかり世間は嵐の後の靜けさになつた、選擧戰開始以來最も多忙を極めたのは警察當局であつたが更に多忙を極めたのは各郵便局の電話交換手である、選擧の際の交換手の奮鬪は武士が

戰場に於けるものと同樣で女ながらによくも斯くの如き活動をなしたものと思はれる、選擧のため市外、市内の通話の激增を見越して遺憾なき活動をなすため臨時交換手の增員さへ行つたが平局の如きは目も廻るやうな多忙さであつた、殊に市内通話よりも市外通話の多かつたことで、普報ではとても用をさぬので何れも急報々々といふ有樣なの中申込が多いため至急報でも普報よりも遲れ申込者中には

憤慨する人もあつたが右について平郵便局では「電話通話に關しては絕對秘密をまもらねばならぬので御話申し上げる事が出來ませんが選擧の際の多忙[illegible]む午前二、三時ころまで通話數が多くて息つく暇もありませんでした殊に多忙だつたのは開票の當日二十二日の兩日にあり交[illegible]不眠不休[illegible]しか、かうした活動振も何人にも認められぬのでつまらなく思つて居ります」など泣きごとを語つて居るのも無理からぬ事である

總選擧の斷面觀 無產黨の將來？

◎黨派の爭は、黨派の爭[illegible]た。黨派・超越して此の新普選の結果を觀るときに、多少の決定的傾向はあり〳〵と受取られる。

◎その第一は名前の善く賣れた候補者に勝味の多いことであり、第二は演說會場に多くの人間を集め得た候補者の成功であり、第三は中立候補者の力の著るしき減退した事であり、第四は所謂無產黨の勢力が主として大工業地帶に限られて居るといふ事證であり、第五は朝野兩黨を通じての舊勢力の結縮であり、第六は突嗟的立候補の不成績であり官憲の努力の甚だ顯りにならぬといふ成績である。

◎二大政黨の互角的結果を見た今日に於て、所謂民意の代表の決定は、一種の問題になりさうである。否その結果の優劣の判定した場合と雖も、所謂民意の所在を正直に測定することは至難である。何となれば所謂民意は、選擧區制の如何に依つてその結果に差異を生ずるものであるからだ。隨つて何れの黨派が勝つたにせよ、勝つたから民意我に在りと斷ずることは、單に形式上の理由を重んずるに過ぎない事だ。

◎その理想と立場とに對して特に氣の毒に堪へないのは、實業同志會の慘敗である。此の慘敗は政治的に極めて意味が深いその立場が大高處から見ての中立的である事は、實業同志會の運命に少からず響いたらしい。所謂既成政黨と無產黨との挾擊に出遇うた貌ちである。日本人の一面は雷同的事大的であり、源平的勝敗の興味の强過ぎるといふ傾向に富むでゐる。如何なる少數にせよ、高く理想を把持して堅實的にその實現を期するといふが如き地道の行き方は概して閑だるいとして見做されて居る。

◎普選問題の討論中には普選後に於ける小黨分立の實現といふ豫測も行はれた二大政黨の對立は日本の傾向である。此の傾向には明かに歷史的と地理的との根據がある。歷史に於ける日本の政爭は、常に對立的であつた。此の對立の傾きに助勢するものは、本の地理的條件である。日本は地理的に統一された國土である。地理的利害の不統一は不統一の大なるものだ　言ひ換へれば日本は第三黨成立すべき地理的根據を缺いて居る。地理的以外の他の利害は多くは思想に依つて調和を圖ることが出來る

◎今日に於ては第三黨の姿らしきものは、所謂無產黨だその無產黨が莫斯科の正朔を奉する限りは問題でない。彼等が純粹に日本人の魂に係つて指導されるに至つたならばその唯一の運命は所謂既成政黨の一半との抱合であらう乎。その抱合の形式に於て無產黨が主位に立つ乎若くは其既成政黨の一半が事實上の鯨呑をするに能くするに至る乎は未來に保藏される一問題だ

文書違反は寛大に 買收は嚴罰 これから洗ふ違反事件 昨秋よりは減少

議會解散後約三旬に亘つて激戰を續けた選擧も終了した、今回の選擧の違反はどれ程あつたらうか、縣高等課では各署よりの

報告を取纏めて居るが普選時代に違反數等發表は出來るだけさけたいとて違反發生件數は秘密にして居るが買收、戸別訪問をのぞく、文書其他の違反は現在當局の取扱に係つたものだけで四十餘件に達して居り、更に買收戸別訪問の違反を加へれば百件位に過ぐる模樣であるが、こうした違反事件を出した事は遺憾であるが文書、其他の違反行爲は過般行はれた縣會選擧の際に

比較すると減少した事は喜ばしい事である、尚ほ當局では買收、戸別訪問以外の違反行爲に對しては出來るだけの手心をする方針らしいが買收、戸別訪問などは手心どころか嚴罰に處するものであると

炭礦地を除けば 大部分は政友 今度の選擧に現れた 石城の政黨分野

石城郡に於ける比佐（民政）木村（政友）兩氏の得票を各町村別に見ると比佐氏の優勢であつたのは內郷、湯本、勿來、磐崎、赤井等その他主として炭礦地と山間方部に止まりその他の大部分の町村は依然木村氏が優勢であるばかりか前記比佐氏の有利なる町村に在つても內郷、湯本等の炭礦地を除く外は兩氏得票の相違は極めて僅少なると同時に比佐氏唯一無二の地盤である炭礦關係地は今後炭礦事業の消長盛衰に支配され果して恒久性を有するものなるや甚だ疑はしい點もあるので石城郡の將來は漸次政友派がその勢力を挽回し舊態を持續するに至るものと豫想されてゐる

神谷分場で 農事傳習會 園藝と病害

神谷村石城農試分場では來る三月六日午前九時から同場に春季農事傳習會を催す事になつたが當日は福島農場の伊藤孝三郎技手の春季に於ける園藝作物の病蟲害と題する講演ある筈

各地を荒した 喜芳捕はる 內郷で平署へ

夏井村大字大越生れ當時住所不定無職窃盜前科二犯佐藤喜芳（三七）は去る大正十五年中橫濱區裁判所で懲役一年の言渡しを受け服役後各地を放浪し今年一月頃歸鄉したものであるが去る十三日午前四時頃平町四丁目菊地靴店事菊地源七方の飾り窓を破壞し陳列場から赤皮キット編上二足代三十二圓を竊取した事此の程平署の爲めに發覺廿三日午前九時頃內郷村宮附近を徘徊中平署の柴崎刑事に逮捕されたが取調の結果更らに二月十五日夜平町才槌小路福島新聞平支局から赤、黑二足の靴を竊取した外各地で十五件の竊盜を働らき賍品はと[illegible]入質費消してゐた事を自白した

大塚靴店から 上等靴失敬 智彦捕はる

群馬縣の吾妻郡岩島村生れ當時住所不定無職樋口智彦（二三）は去る廿一日午後九時頃平町田町本通り大塚靴店の店頭から黑皮編上靴一足代約十五圓を竊取逃走した事平署の探知するところとなり二十二日夜南町附近に於いて猪狩刑事の爲め逮捕され目下嚴重な取調を受けてゐるが餘罪多い見込である

校門を出て 君は何處へ行く 夫れ〴〵向ふこころ 磐中と平商業生

移り行く時の流れに中等學校を巣立つ若人達はどんな遠大な理想を以てゐるかやら卒業期も目睫に迫つて今日志望別を聞くと

▼磐城中學校　百五十七名の進學希望傾向は現在決定したものは大體左の樣なものである、商船六、高工一四、師範一〇、高等四、高商七、高校二九、明大二、高等農林二、外語二、北海道大學水產部一、醫專四、海軍兵學校三、臨時教員養成所四、千葉高等園藝學校、東亞同文、青山學院、拓殖大學、慈惠醫大、秋田鑛山專門、齒科醫專各一名づゝで進學せずに直ちに實生活につく者が官吏二名、植民地巡査二名、教員六名の十名ある

▼平商業學校　五十二名の卒業生は何れも自活の道を講ずべく進學はあまりにない自家營業十四名、商店十八名、鐵道その他官衙十二名、炭鑛及び會社三名、銀行二名、進學未定二名外は直に活社會におよぎ出る勇者ばかりである

石城產馬評議

石城產馬組合評議員會は來る廿八日午前十時から元石城郡役所會議室に開會總會は同日午後一時から同所に開會昭和三年度豫算事業方法等の協議をなす筈である

總選擧も濟んで 財界漸次好轉 櫻花の四月を待つ 平町地方の昨今

石城郡地方では先づ今次の選擧に於て政友木村、民政比佐の二代議士を選出した擧とて政黨政派の見解は別として先づ一般に意氣躍如たるものを示し何處の辻々店先にても戰勝代議士の噂に花が咲き一陽來復の氣を漲らせてゐるが殊に一般の希望として花時に行はれねばならぬ選擧が花の四月を待たずに無事終了されたので先づ之れから花柳界を中心に周圍の景氣を引立てゝ行く事になるだらうと期待してゐるが銀行あたりの帳簿に現れる金融の移動狀態などを聞いて見ても本年に入つてからは餘程圓滑になつた傾向も見へ財界の好化して來た事が窺はれるとの事である

松ケ岡公園に 散策の人出 長閑選擧直後

選擧と陽氣が何も密接な關係を持つてゐる譯ではないが平町地方は選擧終了と共に數日前の寒さはどこへやら赤井の連峰に頂く殘雪も昨日今日は拭ひ去られ吹く風も肩に温るみを覺ねさせる樣になつて來て暫らく忘れてゐた松ケ岡公園あたりへも打連れ立つて三々五々訪れ群がれるも[illegible]尼子亭下の梅畑に足なげ出して咲き初めた梅ケ香を友とし試驗準備に教科書などを繙く學生達を見受けられる樣になつて來た

印刷屋大喜び 花柳界駄目 選擧の餘沫

平地方は舊正月の屠蘇の醉ひもさめぬ今頃の衆議選擧に商家の氣をくさらせること一方ならず何時の選擧にも活版印刷屋及び自動車人力車特殊業を除ては不振を伴ふことが殆ど常態なのであるが殊に制裁が一段と嚴重を極めた今回の普選は其筋の取締におびへて一般に事なかれ主義をとつたのと痛くない腹を探られ勝ちな宴會を避けたが爲に花柳界の如きは氣の毒なほど沈衰の狀態であつたが飜へつて考ふればまた東北自慢の平公園に於ける櫻花の五月に邪魔されるよりもと喜ばれてもゐる

衆議院議員木村清治氏當選祝賀會を開會致します奮つて御出席を歡迎いたします

□期日　三月廿六日午後一時

□會場　平劇場

□會費　五拾錢（當日御持參の事）

御出席の方は當會事務所大村屋係りまで申込み下さい

木村清治後援有志

電話一七五番

㊞廿四日より料金普通にて公開

帝キネ創作◇原作岡正夫

明石錄朗、賀川清、松枝鶴子

幕末劍俠陣 龍馬暗殺 十四卷 上映

維新の風雲兒

土州の鬪將坂本龍馬は中岡、武市等の勤王同志等と共に思想と主義の爲幕臣と戰ひ吉田東洋を斬りその弟子深見左司馬の腕を斬り落した……

㊞勝見庸太郎、マキノ梅太郎、浦路輝子 主演

大江戸人情話 文七元結 八卷

㊞マキノ正博、東郷久義、杉狂兒、小宮一晃

岡島艶子

學生生活ローマンス 潮やけわ自棄 七卷

特別出演…月形龍之助、嵐長三郎、鈴木澄子

帝キネ マキノ　有聲座　電話（四四六番）

時計の進歩！遂に

振動不感の 腕用時計 を生めり

打付けてもたゝき付けても硝子も毀れず狂はない

側はクローム側にて小形です

TRADE MARK NIPPONOPHONE

平町四丁目 會田時計店 電話三六三

當選御禮

福島縣第三區

衆議院議員

木村清治